

「映画監督になる！」
強い決意を抱いて上京

「山下監督は、作品を良くすることだけを常に考えて、そのための努力を一切惜しまない人」

「この人は本当に信念を持って映画を作っているんだな、と改めて思いました」

撮影を終え、女優の縄手麻里さんと梨乃さん姉妹はこう語る。

敦賀出身の映画監督、山下大裕さんが、自主制作映画を完成させた。初監督作品となる『SNOWGIRL』だ。

小学生の時、敦賀でもミュージカルに出演した山下さん。舞台の楽しさを知り、美術や演出にも興味を持った。高校生で「映画監督になりたい！」と心に決め、神奈川県で開学した日本映画大学に1期生として入学する。

日本映画大学は、国内唯一の映画の単科大学。大学では映画史や理論の座学、フィルムでの撮影や脚本制作の実習などが行われるが、実際の撮影現場へ行くことはない。山下さんは自ら、舞台の公演や、映画・テレビの撮影現場へ足を運ぶ。時には撮影現場に潜り込み、関係者に話しかけるといふ。その努力が報われて、今年3月に公開された映画『プラチナデータ』には美術応援として参加する機会に恵まれ、エンドロールにもしっかりとその名が刻まれた。

大学2年生の春、敦賀高校の同級

完成した。

撮影・照明・録音・助監督などは、大学の専攻の異なる学生が担当。「大学生の自主制作映画は、一歩間違えると『学生のお遊び』になってしまうがち。でも僕は初監督作品として責任と誇りを持って挑みたかった」。山下さんと同じく、本気でプロを目指す同志による、10人弱の小さな映画制作チームが誕生したので。

ひと冬の不思議な物語 敦賀の銀世界を背景に

『SNOWGIRL』は、ある冬のヒューマンドラマ。幼い頃に両親が離婚し、父と二人暮らしをする少女・玲菜は、人と接することが苦手で、孤独な日々を送っていた。高校2年の冬、父の急な海外出張が決まり、玲菜は祖母の住む田舎に預けられる。そんなある日、自分とそっくりの少女・羽菜と出会う。羽菜は「双子の妹」だと言うが、玲菜に妹はいない——。不思議な出会いと、動いていく人の心を紡いだ物語だ。

の舞台が、敦賀市。山下さんは、映画の世界に進むと決めた時から、敦賀を舞台にした作品を撮りたいと思いつけていた。ロケ地には、気比の松原や気比神宮の参道、松原旅館、清明の朝市などを選んだ。



「スタッフさんの意識の高さに驚きました」と話す麻里さん(右)、梨乃さん(左)。監督の同級生とはいえ、麻里さん・梨乃さんを大切なキャストとして扱う、その志に感動したという

巻頭集

敦賀出身の若き映画監督

山下大裕

今年2月、敦賀ののどかな風景と雪景色を舞台にした映画

『SNOWGIRL』がクラクラアップを迎えた。

メガホンを取ったのは、敦賀市出身で、

弱冠20歳の映画監督、山下大裕さん。

大好きなまちへの熱い思いをフィルムに

おさめる山下さん取材した。

profile 山下大裕(やました だいすけ)

1992年福井県敦賀市生まれ。中郷小、気比中、敦賀高を経て、現在は日本映画大学映画学部脚本演出コース3年生。映画製作団体DYC主宰。これまで、商業映画や自主映画の制作現場に参加。今年3月に公開された映画『プラチナデータ』に、美術応援で参加

生で双子の女優、縄手麻里さん・梨乃さんと再会。女優を目指して上京した2人と、「金子みすゞショートムービーコンテスト」に応募する作品を作った。この時、姉妹と「いつか映画を撮りたいね」と話していたが、それが動き出したのはわずか数カ月後のことだった。

「撮らないと始まらない」 初監督作品の制作に挑む

山下さんが自主制作に臨んだ理由

「た」と笑みをこぼす山下さん。これまで築いてきた人脈が、豪華キャストを叶えた。

ロケは、今年2月に、東京で3日間、敦賀で8日間行われた。清明の朝市では出店者に出演してもらったり、松原旅館では近所の人が撮影に使う家具を貸してくれたり……。心温まる歓迎と協力が助けられながら、ロケが進んでいった。しかし、当初から心配していた大きな問題に、とうとう直面する。雪が、降らないのだ。雪のシーンを撮るためには、降ってこないといけない……。と焦りながらも、時間だけが過ぎていった。敦賀ロケも後半にさしかかった頃、空から恵みの雪が舞った。まさに一面の銀世界に包まれた2月24日、無事クラクラアップを迎えた。

山下さんは、「敦賀で撮ってよかったと改めて思いました。敦賀にはまだ良いところがたくさんあるので、またここでロケをしたい。敦賀の景色を全国の人に伝えていきたいです」と、あふれんばかりの地元愛を語ってくれた。

3月末に編集作業を終え、この作品を、自主制作映画の登竜門といわれる「第35回びあフィルムフェスティバル」へ応募。4月に東京で、5月には敦賀で上映会を予定している。

2020年までに 全国で公開される映画を

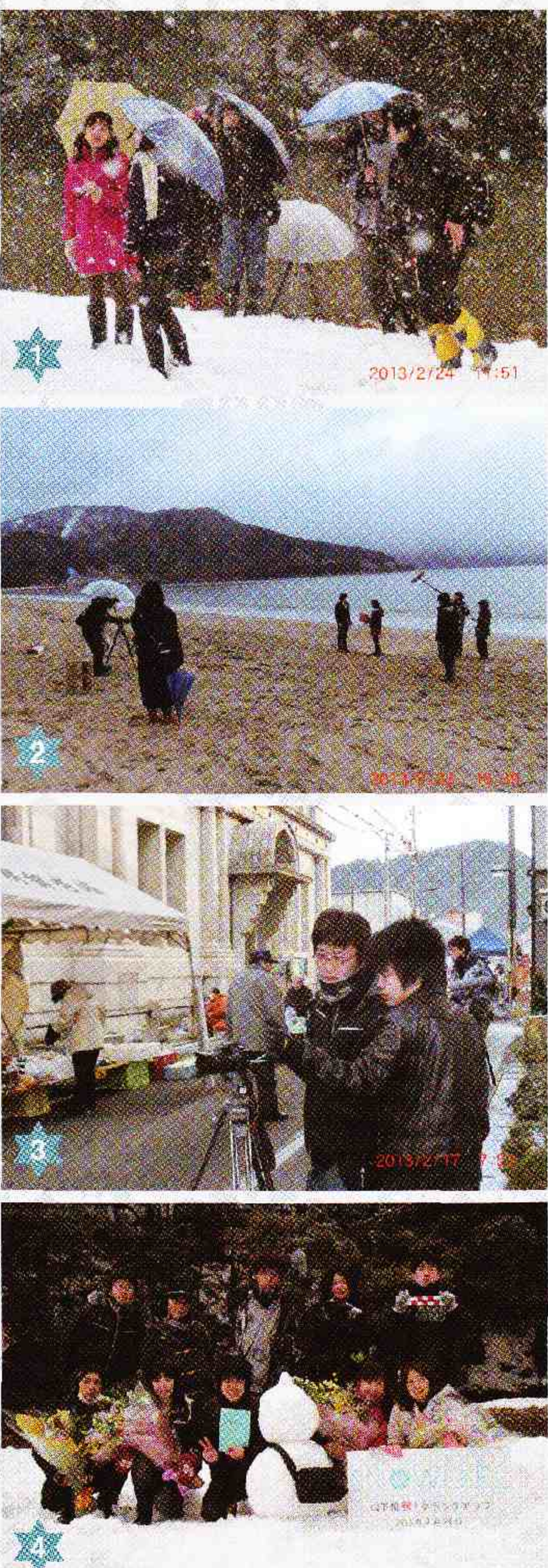
夢は？と問うと、迷わず返ってきた一言。「2020年までに、全都道府県で公開される映画を撮りま



敦賀でのロケでは、地元の方からの「がんばれよ！」と激励の言葉をかけてもらったが、ゆるむ涙眼を引き締めながら撮影に臨んだという

す！」。厳しい世界なのはわかってる。「でも、少しでも可能性がある限り、僕は挑戦したい」という言葉に、彼のひたむきな情熱を垣間見た。どんなに有名な映画監督も、代表作はたくさんあっても、「初監督作品」はひとつだけ。山下監督にとつて、それが『SNOWGIRL』だ。今まで自分を育ててくれた大切な土地で紡いだこの作品が、彼の「はじめの一歩」になる。

7年後、27歳の山下監督に大きな期待を寄せながら。5月26日は、監督の発表を見届けてはいかがか。



1.手足の感覚がなくなるほど冷え切った日。雪がこんこんと降り積もる中、撮影が行われた。2.今まであまりロケ地にならなかった敦賀だからこそ、山下さんは自分が撮っていきたくて思ったという。3.大学生の自主制作とは思えない意識の高さが撮影中の表情から見える。4.人や場所の手配や雑務等も山下さんが中心となってこなした。つらかったこともあったけれど、それより「映画をつくる楽しさ」が勝っていたと話す

information

SNOWGIRL 完成披露上映会 in 敦賀

日時:5月26日(日)14:00~ 19:00~(開場30分前)

料金:一般前売1000円・当日1500円 / 小中高生500円(未就学児入場不可)

会場:まらめきみなと館 小ホール(敦賀市桜町1-1)

キャスト:縄手梨乃 縄手麻里 油木田一博
瑠美子 高橋光栄 人村朱美(友情出演)

本編:62分 ★映画上映後、監督・キャストによる舞台挨拶を予定

チケット取り扱い:田代時計修理工房 0770-22-2903

問い合わせ:090-7740-9475(山下) eiga_snowgirl@gmail.com

映画『SNOWGIRL』ホームページ <http://snowgirl-movie.com>

公式Facebookページ <http://www.facebook.com/eiga.snowgirl>

